

# 平成 30 年度事業報告

## (事業経緯)

- ・有明広域産業技術振興会では、会員企業と有明工業高等専門学校（以下有明高専）との技術相談や共同研究開発などの橋渡しを行ってきた。
- ・会員企業と有明高専をはじめとした産学官の連携・協力の推進を図り、地域産業の振興に寄与するため、産学連携交流事業等を実施している。

## 1. 会議等の開催

### (1) 役員会の開催

当振興会の企画運営や事業の円滑な実施について協議を行うため、役員会を開催した。

(構成：15 会員企業・団体)

- ・開催日：平成 30 年 6 月 4 日（月）14：00～
- ・場 所：有明高専 大会議室

### (2) 総会の開催

総会終了後、有明高専による研究開発成果事例発表会及び会員相互の交流を促進するため交流会を開催した。

- ・開催日：平成 30 年 6 月 4 日（月）15：00～
- ・場 所：有明高専 視聴覚室

### (3) 有明高専と関係機関による連絡調整会議の開催

当振興会事業の円滑な事業推進、地域産業の振興に向けた施策を検討するため、有明高専と関係機関による連絡調整会議（サテライトオフィスミーティング）を定期的に行った。

## 2. 産学連携交流事業

当振興会事業活動の強化を図るため、有明高専主管による事業計画の策定及び有明高専と会員企業の交流等を促進するため、事業を実施した。

(※詳細は「有明高専 産学連携交流事業 実施報告」P4～6 ページ参照)

## 3. 情報・広報事業

### (1) 有明広域産業技術振興会会員企業の銘板更新等

新規入会企業（13 社）の銘板を新たに作成し、設置を行った。

- ・銘板仕様：縦 12 cm×横 35 cm・アルミ樹脂複合板
- ・設置場所：有明高専総合研究棟 1 F テクノセンター事務室前

### (2) 有明広域産業技術振興会会員企業紹介事業（「ありあけ地域企業紹介フェア」）

有明工業高等専門学校の学生及び教職員に当振興会の会員企業を知ってもらうことを目的として会員企業紹介を行った。

また、事業終了後、教職員と会員企業との名刺交換会を行った。

- ・開催日：平成 31 年 3 月 6 日（水）  
13：00～
- ・場 所：有明高専（第 1 体育館、修己館）
- ・参加企業：42 社
- ・参加学生：157 人



- (3) ホームページによる情報発信・会員企業相互の交流の場の提供  
ホームページによる情報の提供、会員相互の情報交換の場を提供した。
- (4) メーリングリストを活用しての情報提供  
メーリングリストを活用し、研究開発助成事業の募集案内、各種セミナーの開催案内等の情報提供を行った。(事務局からの発信：24回)

#### 4. 関連事業

- (1) 各種セミナー開催協力（主催：大牟田市産業活性化推進協議会）

① I S O 9 0 0 1 内部監査員養成講座

- ・開催日：平成30年8月22日(水)～23日(木)  
：平成30年9月4日(火)～5日(水)
- ・場 所：大牟田商工会議所
- ・受講者：58名

② I S O 1 4 0 0 1 内部監査員養成講座

- ・開催日：平成30年10月18日(木)～19日(金)  
：平成30年11月8日(木)～9日(金)
- ・場 所：大牟田商工会議所
- ・受講者：62名

③品質管理(QC)セミナー「生産性向上支援訓練事業」として実施

- ・開催日：平成31年1月24日(木)～25日(金)
- ・場 所：大牟田商工会議所
- ・参加者：25名

④クラウドファンディングセミナー

- ・開催日：平成30年12月4日(火)
- ・場 所：大牟田商工会議所
- ・参加者：18名

⑤H A C C P 研修会

- ・開催日：平成31年2月21日(木)
- ・場 所：大牟田市エコサックセンター
- ・内 容：「H A C C P の考え方を取り入れた衛生管理」  
公益財団法人北九州生活科学センター HACCP 担当室長 神崎 英樹 氏
- ・参加者：40名

- (2) 関係機関・団体が行う事業の開催協力

国や県など関係機関が実施する補助金や、技術向上、研究開発制度に関する説明会、セミナー等の開催に関し、周知等の協力を行った。

## 平成 30 年度 産学連携交流事業 実施報告

本振興会は地元および周辺地域企業と有明高専との間を取り持ち、地域企業の活性化を図るために、講演会、工場見学、シーズ発表会等を企画・実施してきた。また、平成 26 年度に、大牟田市銀座通商店街の一角にサテライトオフィスを開設し、有明高専の一層の開放と情報収集および発信能力の向上を図っている。

### 1. 産学連携による共同研究の促進

- (1) 地場産業振興支援研究経費の補助の見直し  
振興会企業との共同申請課題を採択。
- (2) 分科会の見直し  
地域にマッチしたテーマの検討（継続）。

### 2. 事業の開催

振興会会員企業に有明高専が所有する設備を紹介して、両者間を取り持ち、技術相談から共同研究へ発展させる必要がある。これらの基盤となるシーズやニーズなどについて情報を共有し、事業展開への機会づくりを図るために、以下の事業を実施した。

#### (1) 特別講演

「シリコンバレーに学ぶ アントレプレナーシップ」  
日 時：10 月 16 日（火）  
会 場：有明高専 視聴覚室  
講 師：Silicon Valley-Japan Business Consulting CEO マーク加藤氏  
本校教職員と学生及び企業より 52 名参加。

#### (2) 有明高専シーズデータベースの整備

平成 30 年度も引き続き、有明高専シーズデータベース（高専データベースと様式を統一したものを）、Web ページに掲載した。

#### (3) サテライトオフィス事業

平成 30 年度も引き続き、大牟田市・大牟田商工会議所・大牟田市地域活性化センター・荒尾市・荒尾商工会議所・有明高専による定例情報交換会を 7 回開催した。

#### (4) 有明広域産業技術振興会会員企業紹介事業及び名刺交換会

日 時：3 月 6 日（水）13：00～16：00（名刺交換会 16：30～）  
会 場：有明高専（第 1 体育館、修己館） 企業 42 社参加。

### 3. 有明高専主催・共催行事支援

有明高専が主催または共催する事業は多数あるが、その中で振興会会員企業と密接に関連した下記の事業を行った。

(1) 有明高専オープンキャンパスとの共催イベント

9月22日(土)、23日(日)オープンキャンパス2018を開催。

来場者：1,481名

パネル展示による振興会会員企業紹介を行った。

(2) 第16回南関町企業懇談会

日時：1月18日(金)

会場：ホテルセキア

参加者：高橋校長、富永センター長、上甲コーディネータ

(3) 第5ブロック研究・産学連携ボード会議・日本弁理士会九州支部交流会

日時：1月23日(水)、24日(木)

会場：北九州国際会議場

研究・産学連携の方向性の確認および九州沖縄地区9高専の研究・産学連携担当者と日本弁理士会九州支部所属弁理士との知財についての意見交換会を開催。

(4) 第16回 おおむた産学官連環交流会

日時：2月8日(金) 13:30～(意見交換会 17:20～)

会場：ホテルニューガイアオームタガーデン

本校からは、創造工学科 榎本尚也教授が「溶液構造を意識した単分散セラミック球の精密ものづくり」に関する発表を行った。

(5) ISO 特別セミナー (KOSEN4.0 事業)

①壺から学ぶ ISO の基礎

②品質、環境、労働安全衛生マネジメントセミナー

③食品安全マネジメントセミナー

④情報セキュリティマネジメントセミナー

日時：①12月27日(木) ②3月11日(月)・12日(火) ③3月25日(月)

④3月26日(火)

会場：有明高専 一般教育南棟 合同講義室(北)

(株)グローバルテクノによる、ISO マネジメント規格に関する特別セミナーを開催した。

学生、教職員、企業より97名が参加した。

#### 4. 地場産業振興支援研究事業

地場産業振興を最終目標として、地場企業と高専教職員との連携による研究・開発の促進を目的とする地場産業振興支援研究を継続支援する事業を行った。また、会員企業の技術相談に基づく新規導入装置による測定依頼を支援した。

以下の3件を採択助成した。研究成果は総会資料として配布し、振興会総会終了後に発表して頂く予定である。

◎研究課題：細菌叢と生物叢を指標とした新規河川環境評価法の確立

研究担当者：(創造工学科) 内田雅也 講師

共同研究者：(創造工学科) 富永伸明 教授

(株式会社フレッシュウォーター三池) 石橋幸介 氏

◎研究課題：接着接合材の強度信頼性を高める接着部の非破壊検査方法の開発

研究担当者：(創造工学科) 堀田源治 嘱託教授

共同研究者：(創造工学科) 篠崎烈 准教授  
 (教育研究技術支援センター) 石橋大作 技術専門員  
 (教育研究技術支援センター) 堀田孝之 技術専門職員  
 (平井精密工業株式会社 熊本営業所) 児玉伸二 氏

◎研究課題：水-海苔分離に関する旋回流と振動を組み合わせたハイブリッド技術の開発

研究担当者：(創造工学科) 坪根弘明 教授  
 共同研究者：(創造工学科) 河野 晋 教授  
 (教育研究技術支援センター) 石橋大作 技術専門職員  
 (竹下産業株式会社 代表取締役社長) 竹下政敏 氏

## 5. 研究開発助成事業の斡旋導入

年度	共同 (件)	受託 (件)	合計 (件)	共同 (千円)	受託 (千円)	合計 (千円)
20	18	5	23	14,597	4,677	19,274
21	12	5	17	9,250	8,255	17,505
22	6	4	10	3,887	1,850	5,737
23	6	5	11	3,825	3,690	7,515
24	7	6	13	1,260	6,499	7,756
25	11	4	15	3,042	7,283	10,325
26	7	3	10	796	4,684	5,480
27	11	5	16	5,082	4,970	10,052
28	16	6	22	6,365	7,882	14,247
29	19	4	23	11,110	5,792	16,902
30	21	9	30	19,231	9,804	29,035

## 6. 平成 30 年度予算執行状況

【支出の部】

(単位：円)

区分	決算額	予算額	比較増減
1. 地場産業振興支援研究費	600,000	600,000	0
2. 分科会支援金	0	100,000	△100,000
3. 学生支援金 (オープンキャンパス等)	174,362	200,000	△25,638
4. 会議費	18,000	50,000	△32,000
5. サテライトオフィス事業	0	100,000	△100,000
6. 事業費 (人材育成事業等)	86,890	100,000	△13,110
(企業紹介事業)	269,535	350,000	△80,465
7. 予備費	0	50,000	△50,000
合計	1,148,787	1,550,000	△401,213